



一般質問を終えて

コロナ感染

今後に向けて発熱外来をつくる。冬のインフルエンザの流行前にインフルエンザを含めたワクチン助成を広げる。次の感染まで人員増員して市独自策を整える。

「感染しても大丈夫なように自分で備蓄してもらおう」といった発言が多く残念でした。

原発再稼働

市長は詰まるところ「安全対策をすすめて再稼働をできるだけ早くに進めたい」という側に立っているのかもしれませんが。国策の原発安全神話の元で事故は起きました。原発推進の国に従うだけでは、住民の命は守れないと思うのですが。

学校統廃合・再編成

●適正規模 配置は柔軟な対応ができる
●住民合意のない統廃合はしない
●という回答は引き出しました。

しかし、①小中一貫教育をすすめるために中学校区で一体校をつくる
②単学級の小学校はなくす

という基本は変わりません。子どもの声を聞く姿勢も弱いと思います。

住民の皆さんがどう考えるのかで今後が決まります。

詳しくは後日「市議会だより」で！

社会保障は国民の権利

社会保障費が増えることは悪いこと？

「財政危機だから社会保障が削られるのはしかたない」「公助は最後。まず自助・共助」と皆さ。内部には思い込まされていませんか。留保のため資本主義経済では、働けない人を救う仕組みがもともとありません。この欠陥を補うものが社会保障という考え方です。税金を取ら



「医療をよくする会」の社会保障学習会に参加

金を再配分し資本主義の欠陥を補い権利を保障するのが公の努めです。

今の財政危機の大元の原因は、10月からは高齢者の医療費を確保しているところからまともに窓口負担はなんと2割の方が2倍に！

戦前もはじめから全ての人が戦争に賛成したわけではない

1929年に治安維持法の下、24才で牢獄で病死した伊藤千代子の生涯を描いた「わが青春つきるとも」の映画を観ました。



1925年制定の治安維持法で、戦争反対、天皇制を批判する思想そのものが犯罪となり、処罰されました。20年間で逮捕者数10万人、小林多喜二など特高警察の拷問による虐殺が90人余。刑務所、拘置所での虐待・暴行、発病などで400人以上が伊藤千代子のように獄死しています。

特に当時無権利の女性が学び、考えを持ち、行動することは、男性以上に家族からも社会からも迫害を受け、強い意志がないとできなかつたわけです。

思想信条の自由を奪った後に来たのが戦争だということを、忘れてはなりません。最初共産党員だった弾圧は無政府主義者や宗教者とどんどん拡大し、大政翼賛政治に突き進みました。



お彼岸を待たずに咲き始めたヒガンバナ

介護保険も、ケアプラン有料化、福祉用具を貸し出してなく買い取りに、生活援助の介護保険外しなど改悪がもくろまれています。権利としての社会保障が脅かされています。

◎憲法25条◎

すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
2 国はすべての生活部面において、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。